

附属機関等の名称 会議概要

1	審議会名 第9回 安曇野市緑の基本計画推進協議会...
2	日 時 令和7年1月23日 午前10時から午前12時まで...
3	会 場 安曇野市役所本庁舎3階 理事者側控室兼会議室...
4	出席者 佐々木邦博委員、等々力章委員、加部麻子委員、磯野康子委員、太田正子委員、 中田信一郎委員（欠席：百瀬陽子委員、高木一寿委員）...
5	市側出席者 山田課長（都市計画課）、 城取係長、白坂係長、和田主査（都市計画課公園緑地担当）...
6	公開・非公開の別 公開...
7	傍聴人 0 人 記者 0 人...
8	会議概要作成年月日 令和7年2月3日...

協 議 事 項 等

1. 開会
2. あいさつ ・計画の見直しの時期が来ている。公園マップ作成も含め活発な議論をお願いする。
3. 議事
（1）緑の基本計画取り組み状況について ・安曇野の風景が変わってきている。安曇野の風景を繋げるため、どうすれば1人ひとりに緑への関心を持ってもらえるか。緑を育てる楽しさを知ってもらうことが必要ではないか。 ・安曇野のように、土地利用で最低敷地面積を定めている自治体は極めて少ない。 同じデザインの家が並ぶと、緑や修景で違いを付けるしかないが、デザインは行政指導できない。 ・緑の相談窓口は良い取り組み。相談がもっと増えれば良い。 ・記念樹は緑の相談窓口の案内とセットにしておくといい。推奨樹種を一度更新し、市街地推奨と郊外推奨、場所も日照りと半日陰北側などに分け円にして家の配置に対し推奨樹種を窓口で紹介して、困ったら相談を受けるまでサポートすると良い。 ・木の手入れは大変なので芝の方が管理は簡単という選択肢を用意すれば、もっと緑に関心をもって家を建ててくれる人が増える。
（2）今後のスケジュールについて ・公園マップの議論で気が付いたところを、次回計画に反映していければ良い。
（3）専門部会について（公園マップ） ・北城公園は、大人向けで大人しい珍しい公園。対照的に、町尻公園は明らかに子ども向け。 ・かじかの里公園は、急激に利用者が増え近隣住民が困っている ・常念ふれあい公園は穂高で一番メジャーであり、芝生が広がり様々な遊びができる。魅力は水場であり、小さい子どもも安心して遊べる。威圧感のある築山を除けばとても良い公園。

- ・三郷文化公園は1年中利用者がいる。ステージ上のベンチに寄せ植えのプランターを設置したらどうか。サクラやユリノキの花で四季を感じられる。落ち葉で遊べるので、落ち葉を活かしたイベントも良い。
- ・住んでいる地域以外の公園は知られていない。マップを魅力的に作ればいろいろな公園が知れて良い。
- ・マップは、子ども向けのものか、シニア向けにするのか、方向性で表現の仕方が違う。
- ・掲載すべきはアピールポイント。公園は利用してもらうのが第一。
- ・黒沢洞合自然公園は三郷村合併50周年記念事業で当時三郷中の生徒が黒沢川自然公園プランを作り、それを基に設計や工事をしたストーリー性のある公園。
- ・足を延ばせばその地域ごとに培ってきた文化や歴史を感じられる公園があり、知らないのはもったいない。知ってもらいたいというのがマップ作成の意味。
- ・拠点公園など魅力ある公園は大きく紹介するが、その他は小さく区別して紹介する。
- ・参考になっているロゲイニングマップの場合65ヶ所で文章量は50〜70字程度。今後公園マップのたたき台を作って内容を検討したい。
- ・イチ押し公園を1人3公園、合計30公園程度マップに落とし込み資料とし、おすすめ順に番号を付けると分けやすい。その中から子ども向けなどに分ける。

4. その他

- ・次回は5月下旬開催予定だが、プロポーザルやマップの進捗状況で前後する。
- ・プロポーザル審査委員に協議会から2名程度推薦したい。

5. 閉会